



旧平野家住宅主屋の国登録有形文化財（建造物）への登録について

国の文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和5年11月24日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、葉山町堀内字牛ヶ谷に所在する「旧平野家住宅主屋」を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

今回の告示どおり答申されると、町内の登録有形文化財（建造物）の登録件数は10件となる予定です。なお、当件につきましては、国（文化庁）、神奈川県においても同時に発表がされます。

旧平野家住宅主屋（きゅうひらのけじゅうたくおもや）

- (1) 所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内牛ヶ谷1834番地
- (2) 所有者 個人
- (3) 建築年代 昭和11年/昭和13年頃増築、令和2年改修
- (4) 数量 1件（1箇所）
- (5) 概要

JR逗子駅と葉山御用邸を結ぶ国道の近傍に建つ。材木商を営んでいた施主が、常住の住宅として建築。木造平屋建、さんぐわらぶき 棧瓦葺で、庭に面してぬれえん・くれえん 濡縁・樽縁付の座敷を雁行状に配し、背面には随所に銘木を用いた中二階の座敷を接続する。材木商による上質な近代和風住宅で、昭和前期に葉山に築かれた郊外住宅の好例。

令和2年に内部の一部を改修し、現在コミュニティスペース兼宿泊施設として活用。

- (6) 基 準 登録有形文化財登録基準2号該当（造形の規範となっているもの）
- (7) 写真



①外観 南面



②座敷

用語解説	
濡縁（ぬれえん）	家屋の外側に設けられる雨ざらしの縁側。普通の縁側は長手方向に縁板を張るが、濡縁では縁と直角方向に張ることが多い。（建築大辞典第2版 彰国社より）
樽縁（くれえん）	縁の一。縁の長手方向に床板を張ったもの。（建築大辞典第2版 彰国社より）

【問合せ】

葉山町教育委員会生涯学習課 山口
046-876-1111（内線7233）
E-mail：manabi@hayama.kanagawa.jp